

- 主要高速道路
- ガソリンスタンド
- 水力発電所
- 石油・天然ガス産出
- 石灰石
- 森林産物
- 魚類産物
- 牧畜
- 畜産
- 乳牛
- 果



が一億一千万ドルとなっている。昔から世界的に有名な鉱山として、キンバリーのサリバン鉱山とトレイルの鉛・亜鉛鉱山がある。サリバン鉱山は、Borneo州で最も早く開発された鉱山のひとつで、現在も世界の鉛・亜鉛の主産地として知られている。トレイルは、カナダ最大級の鉱山会社であるコミンコ社の拠点のひとつで、鉛・亜鉛の精錬では量、技術とともに世界最先端にある。

銅とモリブデンは、露天鉱として有名なアライランド・コパー、アレンタ、エンタコ、ベッレム、ジラルタル、グラニックス、ノラント、ベル、ローノックス、シムルカミの九鉱山があり、わめて大規模な操業を行なっている。

は、年産一千万トンを超え、ほとんどが日本に輸出されている。一般炭はカナダ東部や合衆国に出荷される。燃料多様化の趨勢の中で重要性が高まってきた。石炭業界は、ここ数年の経済不況によって短期的な生産停滞を見ているとはいえ、長期戦略にもとづいて、いくつかの開発計画が進行中である。

北東部はまた、北米大陸の大平原の延長として、現在州内で石油と天然ガスを産出する唯一の堆積層でもある。商業生産の歴史は比較的新しく、一九五七年の天然ガス・パイプライン、六一年の石油パイプラインの完成を待って本格的な操業に入った。現在では、天然ガス生産高は石炭と肩を並べ、またどの金属よりも多い。石油生産高は天然ガスほどではないが、モリブデンや金・銀の二、三倍にまで増えている。

過去十数年における世界市場の伸びに  
 対応して、Borneo州鉱業界は盛んに採鉱や  
 拡張を進めてきた。最も顕著な例がモリ  
 ブデンで、六〇年代半ばまではBorneo州で  
 採鉱されていなかったのが、現在では世  
 界第二位、全世界の産出量の約一五パー  
 セントを占めるまでになった。

東南部の露天鉱で有名なカイサー、地  
 下鉱のフォアデインク両鉱山では操業拡  
 張が進行中、またクロウズネスト・イン  
 タストリクス社では新鉱山を開発中、そ  
 のほかBorneoコールド社のホズレー・ウー  
 ラー、リオ・アルゴム社のセージクリ  
 ンなどの新鉱山の開発計画、エソッ  
 リン・シス社のパイロククリク鉱山大  
 規模拡張計画などが各自押しに進められ  
 ており、州東南部からの出炭能力は、一  
 九八五年までには現状のほぼ二倍に達す  
 る見通しである。

今、日本で大きな注目を浴びているの  
 が、Borneo州北東部の石炭開発である。北  
 東炭開発は、一九八一年、日本の製鉄會  
 社とBorneo州石炭企業との間に、年間六百  
 七十万トンの原料炭を向こう十五年間供  
 給するという長期契約が調印され、その  
 時点から本格的に開始されたBorneo州史上  
 最大の開発プロジェクトである。(詳細  
 は九頁参照)

またカスケード山脈とモナシ山脈に  
 挟まれたオカナガン・バレー一帯は、果  
 物の産地として有名。特にりんごは南部  
 ではプリシヤス種、気候条件が厳しい北  
 部ではアップキントップシュ種のカナダ  
 一の産地である。そのほか、梨、桃、  
 さくらんぼ、あんず、アラムも栽培して  
 おり、Borneo州をはじめ国内で消費されて  
 7

## 農業

### 果樹栽培で有名



アライシッシュ・コロムビア州の大平  
 は山と森林で、農地は全体のわずか二パ  
 ーセントにすぎない。しかし、サケの  
 川として世界的に有名なフレザー川  
 の下流域では養牛、養豚、養鶏、酪農  
 が盛んだし、フレザー川流域やバン  
 ーパード島では、ラズベリーやストロベリ  
 ー、アールベリー(カナダ全体の九〇パ  
 ーセントを産出)のほか、ぶどう、あん  
 ず(カナダの食用あんずはほとんどすべ  
 てここで生産される)、トマト、スイー  
 トコーンなどが栽培されている。カナダ  
 には珍しい温暖な気候に恵まれたバン  
 クーパード島では、花卉や観賞植物の栽培  
 も行なわれている。